

Hiroshi KOJIMA (National Institute of Population and Social Security Research)
"Regional Variations among Relationship between Fertility, Mortality, Migration, and
Environmental Changes in Thailand"

Shinichi TAKAHASHI and Satoshi NAKAGAWA (Kobe University)
"Travel Duration and Mode Choice of Migrants and Non-migrants: In the Cases of the
Philippines and Thailand"

Aya ABE (National Institute of Population and Social Security Research)

Part 2:

"Migration and Urban Life Satisfaction of Married Women in Metro Manila, 2000"

Nimfa B. OGENA (University of the Philippines Population Institute)

"The Study of the Effects of Migration on Environment: Bangkok Metropolitan Area and Had
Yai Municipality, Thailand"

Bhassorn LIMANONDA (College of Population Studies, Chulalongkorn University, Thailand)

"The Study of the Effects of Migration on the Urban Environment: Hanoi and Ho Chi Minh City,
Vietnam"

Anh N. DANG (Institute of Sociology, Vietnam)

Discussion

(千年よしみ記)

第5回社会保障審議会人口部会

社会保障審議会人口部会（部会長：廣松毅東京大学教授）の第5回（最終）会合が2002年の1月30日、日比谷松本楼で開催され、国立社会保障・人口問題研究所の新推計「日本の将来推計人口（平成14年1月推計）」が報告された。高橋重郷人口動向研究部長より内容について説明があり、委員から本推計結果ならびに少子化問題全般について意見・感想が述べられた。本推計結果は国立社会保障・人口問題研究所から研究資料303号として刊行されるとともに、概要が本誌本号に「資料」として収録されている。またインターネット・ホームページ（<http://www.ipss.go.jp/>）にも掲載されている。5回にわたる人口部会閉会にあたって、審議内容、資料等を記録した本の出版が事務局から提案された。（佐藤龍三郎記）

社会保障審議会児童部会ならびに年金部会への新将来推計人口の報告

当研究所の「日本の将来推計人口（平成14年1月推計）」の公表を受け、社会保障審議会児童部会ならびに年金部会から、推計結果の概要と推計の前提となった将来の出生率の見通し等について報告を求められ、各部会報告を行った。

社会保障審議会第2回児童部会は、平成14年2月13日に、また第2回年金部会は、平成14年3月19日に、それぞれ開催された。

報告では、今回の推計の前提である(1)出生率の将来仮定値の考え方と(2)将来の生残率（将来の寿命）の考え方を中心に説明を行った。とくに、出生率の仮定に関しては、1960年代以降に生まれた人々の出生行動の変化の分析結果とそれに基づく将来の出生率見通しの説明をおこなった。